

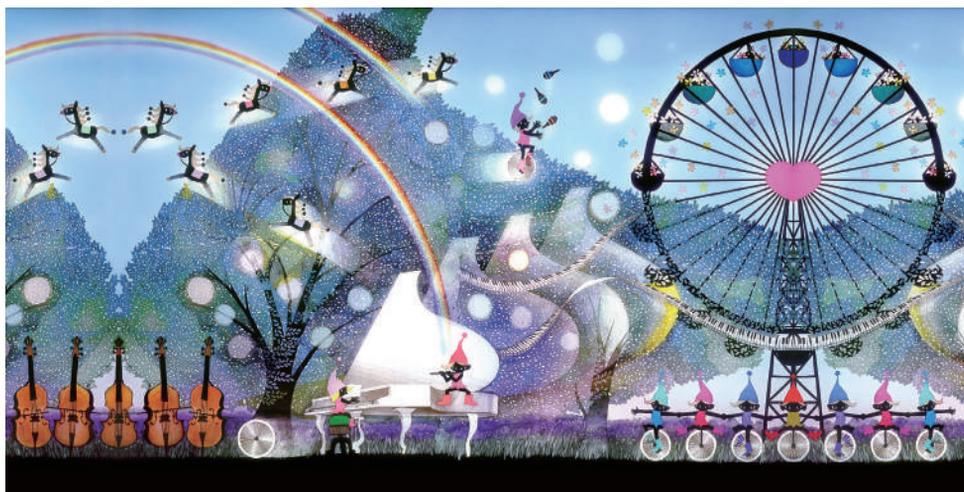
日本を代表する光の芸術家・藤城清治は独特の色彩感覚で叙情あふれる作品を生み出し98歳を超えた今も精力的に制作を続ける第一人者だ。藤城氏のメルヘンの世界は年齢を問わず観る者を魅了する。

目に見えない透明な光と、その光によって生み出される影との対比から幻想的な世界を創り出す影絵は、古くから世界中で親しまれてきた芸術の一つ。藤城作品は絵本や雑誌、カレンダーなど数多く紹介され、美しい色彩あふれる叙情的な作品が多くの人を楽しませている。



『月光の響』 ©Seiji Fujishiro1981

# 藤城清治 版画展 ～生きる喜び 心に 花束を～



『風の中の白いピアノ』 ©Seiji Fujishiro Museum



『角笛と少年』 ©Seiji Fujishiro Museum



## 藤城清治 Seiji Fujishiro

1924年4月17日生まれ。慶應義塾大学在学中より数々の賞を受賞し、18歳のころ初めて銀座にて油絵と人形の展示会を行う。その後影絵劇創作活動を開始。卒業後、銀座テアトル入社を経て、NHKの専属契約となり、雑誌「暮らしの手帖」などへの連載を手がけ、初の絵本「ぶどう酒びんのふしぎな旅」を出版。この頃からメルヘンや童話の世界を手がけ始める。人形と影絵の劇団ジュヌ・バントル、その後人形劇の木馬座を結成し、後の日本テレビの番組「木馬座アワー」で爆発的人気を博したキャラクター「ケロヨン」を生み出した。影絵劇では宮沢賢治「銀河鉄道の夜」をはじめとした名作を生み、絵本では金のリンゴ賞を受賞、その他数々の受賞を果たしている。80歳を機に影絵展を全国で開催し、2013年には栃木県那須高原に常設の藤城清治美術館が開館。最近では2019年宮崎空港に神話をテーマにデザインした全長21mのステンドグラスの原画を制作するほか、独自の世界観を表現した数々の書籍を発刊している。唯一無二の芸術世界は高く評価され、心に呼びかける響きに、喜び満ち幸福になれる作品が生み出されている。2022年4月17日に98歳を迎えてもなお、創作意欲はますます尽きることなく、新たな表現を模索しながら日々歩みつづけている。



### 交通のご案内

#### 【電車をご利用の場合】

- 東武宇都宮線 東武宇都宮駅直結
- JR宇都宮線 宇都宮駅西口よりタクシーで約5分
- ※宇都宮駅西口より路線バスをご利用の場合、  
関東バス (1・2・6・7・8・10・11・12・13番乗場)にて  
「東武駅前」停留所まで約5分、停留所から  
当店まで徒歩約2分
- JRバス (4番乗場)にて「東武駅前」停留所まで約5分、  
停留所から当店まで徒歩約2分

#### 【お車をご利用の場合】

- 東北自動車道鹿沼I.C.より  
鹿沼インター通りを宇都宮市街地方面へ

# TOBU

宇都宮 東武

宇都宮市宮園町5-4 〒320-8560 TEL.代表/028-636-2211  
<http://www.tobu-u-dept.jp/>

営業時間：午前10時～午後7時